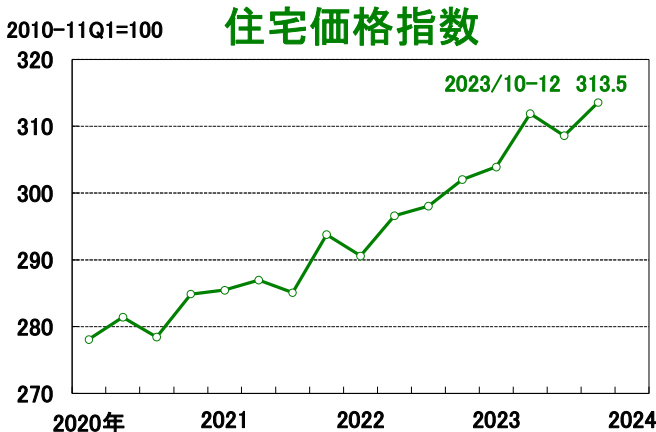
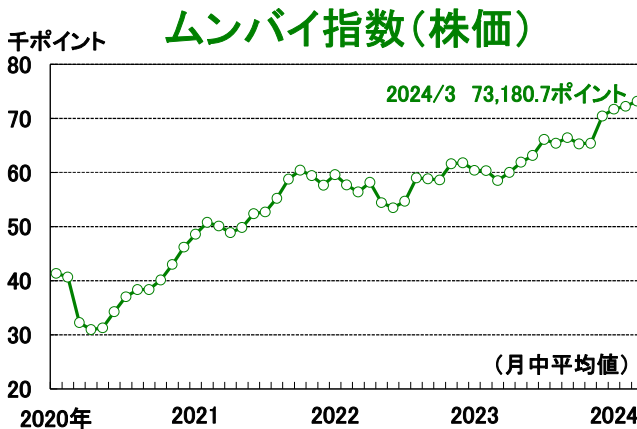
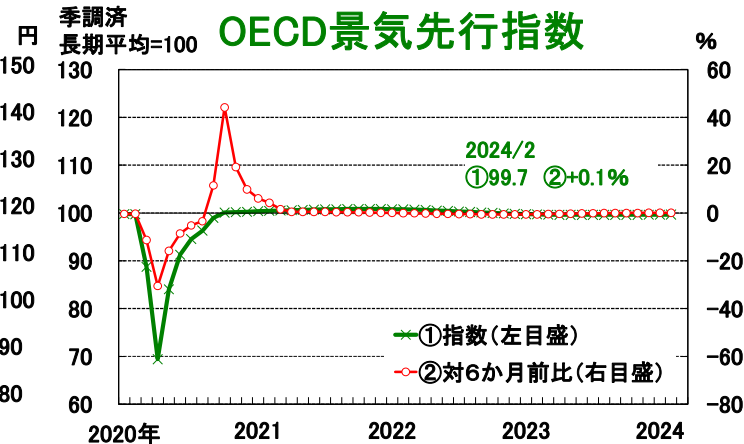
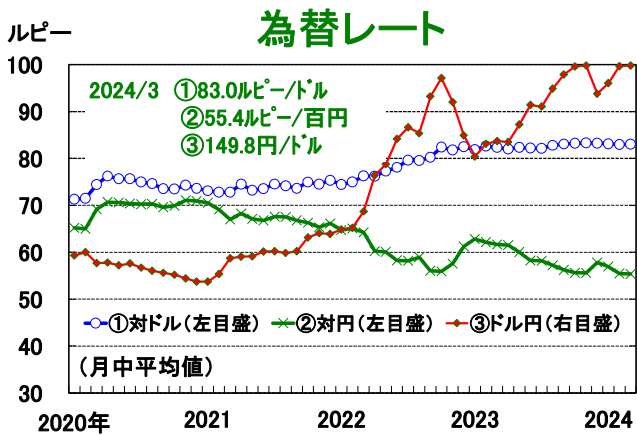
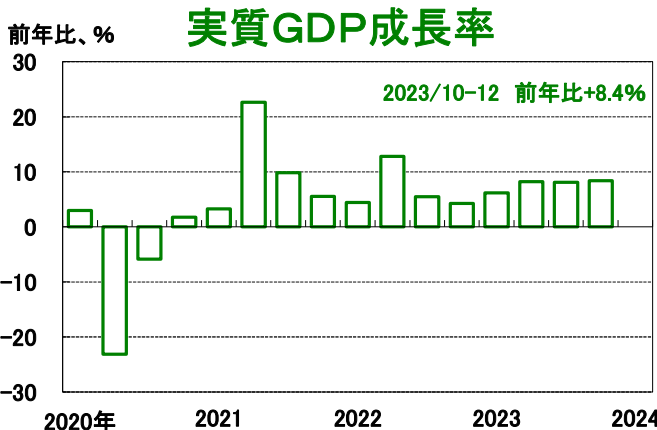
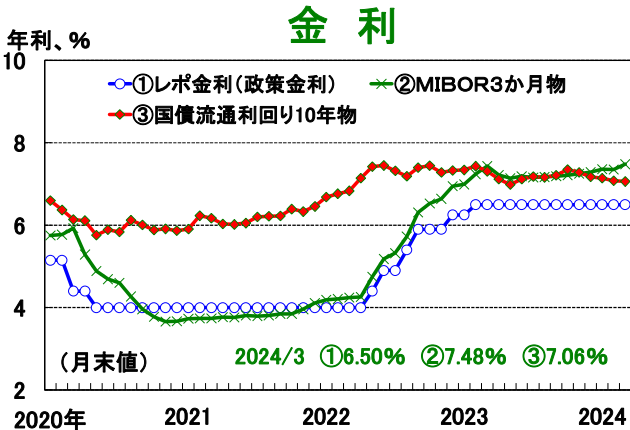
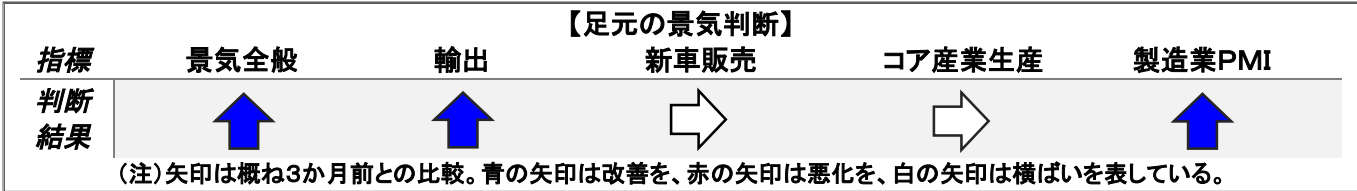


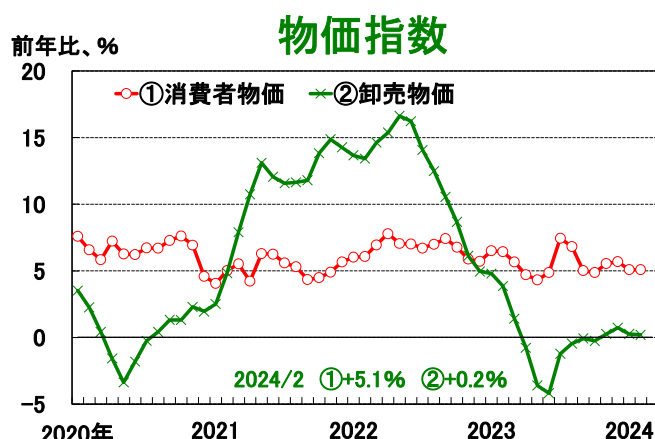
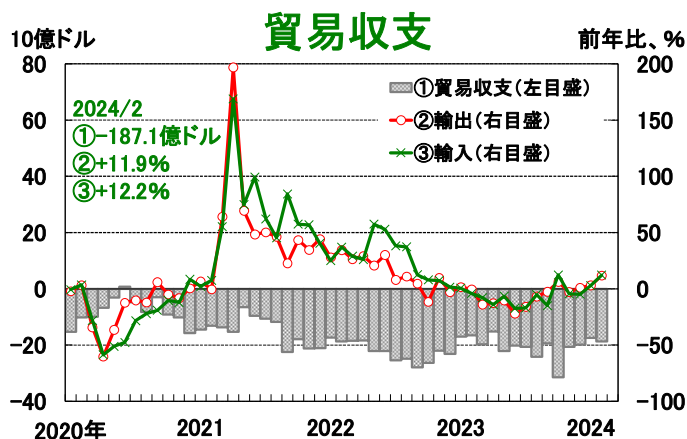
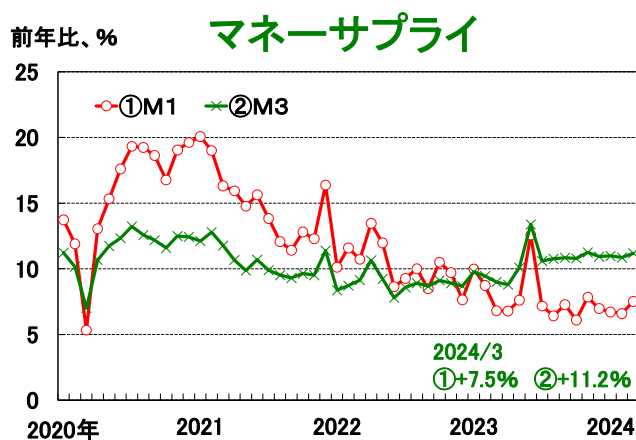
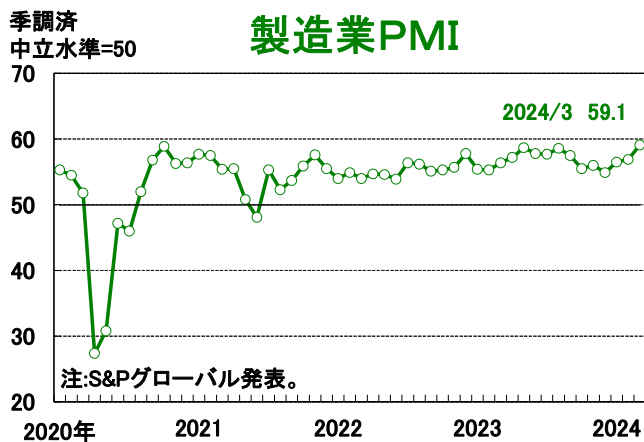
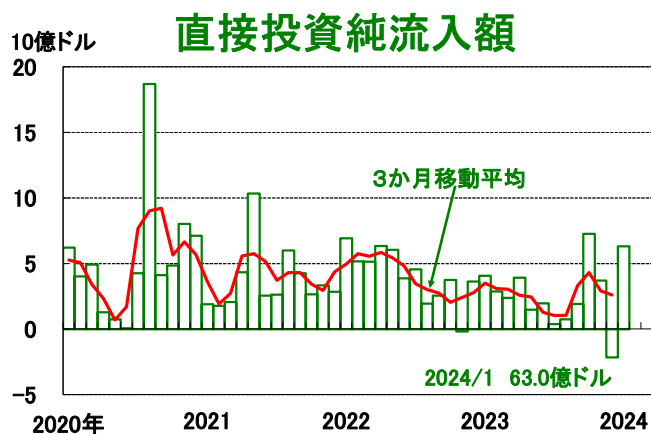
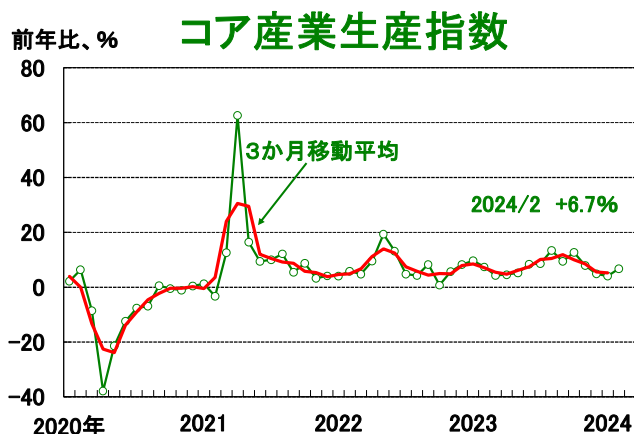
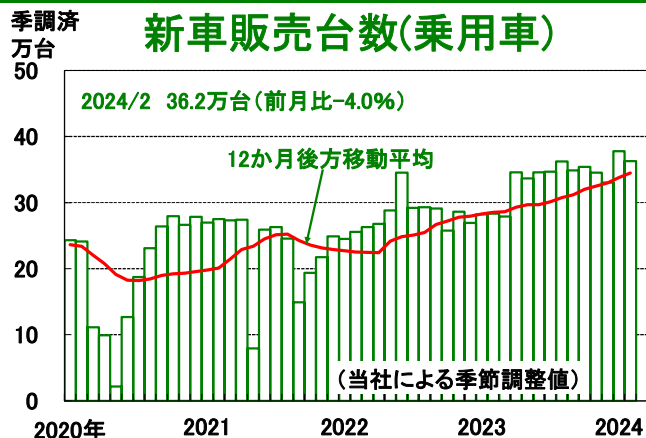
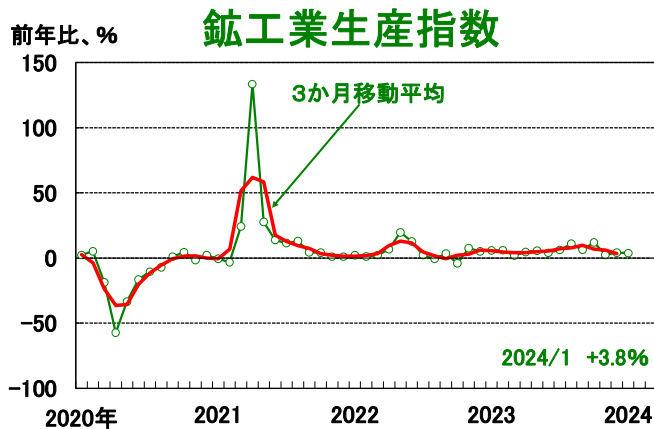
グラフで見るインド経済 2024 年4月号 (No. 172)

インドの景気は緩やかに回復している。2月の輸出は前年比+11.9%と前年水準を大きく上回った。仕向地別にみると、中国向けが減速したもの、米国向けは増勢が大きく拡大した。また、同月の新車販売台数は高水準を保った。個人消費は底堅く推移しているとみられる。こうした中、原油や天然ガスの生産加速などから2月のコア産業生産指数が前年比+6.7%と前月の伸びを上回った。続く3月の製造業PMIも59.1(中立水準は50)と3か月連続で上昇した。内訳をみると、「生産」と「新規受注」が堅調に上昇した。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。